

「課外活動・ふたば祭早期復活を目指そう！ みんなの力で」

学長 荒川哲男

「ふたば祭」の突然の中止。あまりにも酷だ。それに「課外活動」までもが、、、いったいなぜ？

明るく始まった新年度。キャンパスは、マスク姿以外は、コロナ前の光景に戻ったようで嬉しかった。皆さんの1号館前庭での談笑が耳に心地よかった。

だが、大阪府は間違いなく第4波に入った。とくに若者の感染増加が目立つ。変異種の影響も大だ。吉村知事の急な要請も深刻な危機感の表れ。大学は、皆さんと皆さんの周囲の人の健康を守るため、要請に従い遠隔授業への切り替え、課外活動の休止へ苦渋の舵きりをせざるを得なくなった。皆さんの気持ちを考えると、まったく断腸の思いだ。

「コロナへの挑戦」を教職員一同、固く誓って始めた新年度。これにくじけたわけではない。万全の感染対策の元での対面授業と課外活動の充実を基本とする方針を、断じて変えるつもりはない。第4波を乗り切る5月5日までの時限措置。そう信じて「忍の一字」で一緒にがんばろう。

「努力は必ず報われるものなんですね」池江璃花子選手が4月4日、復帰後の日本選手権で優勝し、東京オリンピックに内定した際に、しみじみと語った言葉だ。

「ふたば祭」「課外活動」が消えたわけではない。早期復活をめざし、粘り強くコロナと闘おう！ 努力は必ず報われる。